

## 令和3年 第4回定例会(9月議会) 一般質問通告書

質問順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
1番	1番 中村 清栄 議員	1. 中学校の部活動について問う  2. ひおきベビカムサポート事業について問う  3. PCR検査助成制度について問う	(1) 部活動をする上での教育的意義とは何か。  (2) 部活動を運営する中での現状と課題とは何か。  (3) ボランティアの外部指導員の採用を積極的に取り入れてはどうか。  (1) この不妊治療事業について、制度を活用している人数および、その結果、出産に至った件数を伺う。  (2) 一般不妊治療の助成期間が2年間とあるが、期間延長および助成額の拡充、また、特定不妊治療等の助成の拡充は検討できないか。  (1) 県内自治体で実施しているPCR検査の助成について、日置市においても検討できないか。	教育長  教育長  教育長  市長  市長  市長

令和3年 第4回定例会(9月議会) 一般質問通告書

質問順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
2番	8番 富迫 克彦 議員	1. 中学生の職場体験学習について	(1) 市内の中学校で、現在、職場体験を受け入れていただいている企業の業種別件数・割合はどうなっているか。	教育長
			(2) 受け入れ企業の募集は、どのように行われているか。	教育長
			(3) 労働力不足と言われる昨今、農業や建設業等、労働力不足に悩んでいる企業等、現在受け入れをされていない業種にも積極的に受け入れをお願いする必要はないか。	教育長
		2. 関係人口を増やすための方策について	(1) 市長就任後3カ月余りが経過するが、現在の取り組み状況はどうか。	市長
			(2) 昨年6月議会で廃校施設の有効活用について質問した。その時に、文部科学省を中心に取り組む「みんなの廃校プロジェクト」の例を紹介したが、紹介事例を見ての感想を伺う。	市長
			(3) 廃校施設や東市来支所にも空きスペースがあるが、関係人口の増加策としてサテライトオフィスとして整備することを検討できないか。	市長
		3. 上下水道料金の改定について	(1) 今回の料金改定を検討する中で、先般報告した「熊本県荒尾市の包括業務委託」について、どのように検討したのか伺う。	市長
			(2) 日置市でこのような包括業務委託に取り組んだ場合のメリット・デメリットをどう考えるか。	市長
			(3) 将来的に上下水道事業を守る、料金面からだけではなく、実際にインフラをどのような形で守るのか、多方面からの検討が必要だと思うが、どう考えるか。	市長

令和3年 第4回定例会(9月議会) 一般質問通告書

質問順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
3番	11番 山口 政夫 議員	1. 市民への広報誌・文書配布等の改善を図らないか	(1) 高齢化・過疎化・自治会未加入や外国人の居住も増える中、自治会配布文書や回覧板等の在り方の改善が望まれる。改善の一つとして、多国言語・読み上げ機能を有する電子情報配信アプリやMBCテレビデータ放送・市ホームページなど複数のシステムを導入し改善を図らないか伺う。	市長
			(2) デジタル化が進む中、市民へのスマートホンやタブレットなど、地区公民館・自治会・高齢者クラブ・女性団体や社会教育学級等で頻繁に講座を開催することを提案し、市民の安心安全なデジタル通信機器活用の推進に努めないか伺う。	市長
		2. 認知症による行方不明者への対応、対策について	(1) 第8期介護保険事業計画に介護認定された認知症数は801(15P)人とあり、認知症初期集中支援チームを効果的に運用し、又、医師・認知症疾患医療センター(88P)との連携を強化します。とある、そこで認知症と診断された人は何人と把握しているか伺う。	市長
			(2) 行方不明時のSOSネットワーク体制を構築し、徘徊模擬訓練を実施するとあるが(88P)、不明者の情報共有やネットワーク体制・訓練内容を伺う。	市長
			(3) 家族の同意を得て、行方不明等のおそれのある認知症高齢者等事前登録実施要綱の法整備を行い、行方不明捜索願の提出された時、速やかに、事前登録情報シート(住所・氏名・顔写真等)で情報の共有を行うことを提案し、迅速な不明者の発見に努めないか伺う。	市長

## 令和3年 第4回定例会(9月議会) 一般質問通告書

質問順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
		3. 地区公民館の体制・交付金のあり方について	<p>(1) 地区振興計画の策定及び実施団体は条例地区公民館か、地区自治公民館か市長の見解を伺う。</p> <p>(2) 条例地区公民館の管理責任者を支援員とし、現在の館長を地区自治公民館の館長(会長・代表者)とし、組織名称も地区自治会・地区連絡協議会・コミュニティー協議会等と体制を変えるべきではないか伺う。</p> <p>(3) 現在の地区振興計画書に基づいた、交付金のあり方を廃止し、手上げ方式、つまり事業ごとに、計画書及び予算書を添え申請を行い、事業や補助額を決定し、地区自治公民館が事業を実施し、共生協働による地域活性化を図るよう改善すべきではないか伺う。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>

令和3年 第4回定例会(9月議会) 一般質問通告書

質問順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
4番	14番 黒田 澄子 議員	1. 3歳児健康診査の視覚検査へ、屈折検査機器の導入を	(1) 3歳児健診での家庭で行う視力検査の正確さをどう考えるか。	市長
			(2) 目の病気や障がい等が発見される時期が遅れる事での、子どもへの影響をどう考えるか。	市長
			(3) 目の異常の発見が遅れる事でのリスクに対して、保護者への啓発の状況はどうか。	市長
			(4) 眼鏡をかけても視力が出ない弱視等の早期発見のために、屈折検査機器の導入を考えないか。	市長
		2. 子宮頸がんワクチン接種のキャッチアップ(定期接種を逃した方への救済)の必要性について問う	(1) 個別通知のない令和元年度と本市が個別通知した令和2年度の接種者数・接種率は。	市長
			(2) 過去2年間の子宮頸がん検診の年齢別の受診者数・受診率は。	市長
			(3) キャッチアップ接種の必要性への考え方及び、キャッチアップ助成に取り組む先進地の状況を問う。	市長
			(4) 女性の命を守るための、キャッチアップ助成に取り組まないか。	市長
			(5) ワクチン接種の予診票を送付できないか。	市長
		3. 恒久的に生理用品配付を	(1) 特に学校等で生理用品を常にトイレに配付する事での効果をどう考えるか。	市長 教育長
			(2) 女性の健康保持・増進のために、恒久的に生理用品配付を予算化すべきでは。	市長

## 令和3年 第4回定例会(9月議会) 一般質問通告書

質問順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
		4. 特別教室へのエアコン整備を計画的に行うべきでは	(1) 各特別教室のエアコン設置状況及び、特別教室エアコン整備計画と優先順位の根拠は。  (2) 音楽室や調理実習を行う家庭科室へのエアコン設置の要望はないか。  (3) 特別教室へ計画的にエアコン整備をすべきでは。	市長 教育長  教育長  市長 教育長
		5. ふるさと納税に動物愛護枠を設けないか	(1) 野良猫等への市民からの苦情はどのようなものか。また、市の対応・対策は。  (2) 先進地での対策は、どのようなものか。  (3) 野良猫等への不妊・去勢手術の助成のために、ふるさと納税に動物愛護の枠を設けないか。	市長  市長  市長
		6. 収納等のスマホ決済の種類を増やせないか	(1) 銀行等の口座引き落とし以外の収納方法の種類・件数の状況は。  (2) 近年、QR・バーコード決済サービスでの決済導入が進んでいるが他市の活用状況は。  (3) いつでも納付できる便利なスマホ決済等の種類を増やせないか。	市長  市長  市長

令和3年 第4回定例会(9月議会) 一般質問通告書

質問順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
5番	16番 山口 初美 議員	1. 会計年度任用職員制度で待遇改善できたか	(1) 非正規公務員の新たな新制度として会計年度任用職員制度がスタートし1年が過ぎた。待遇を改善するため導入された制度だが、現状はどうか。	市長
		2. 放課後児童クラブ拡充について	(1) 放課後児童クラブに入れない児童がいたり、兄弟で別々の児童クラブに通うなどの状況もあるようだ。公的責任で拡充するべきではないか。	市長
		3. 野焼きによる煙の問題について	(1) コロナ禍で換気の徹底が必要ということで、現在窓を開けて生活しているが、野焼きの煙で迷惑しているという声もある。野焼きは法律で禁止されていることや、止むを得ず野焼きをする場合、届出や風向きを考える等、周辺に迷惑をかけることがないよう市民へ周知徹底できないか。	市長
		4. 吹上浜沖洋上風力発電事業計画について	(1) 吹上浜沖洋上風力発電事業計画を市としても検証するため庁舎内に環境問題、健康被害、漁業・観光・産業等を連携して研究する、研究チームを作らないか。	市長
		5. コロナ禍における自殺予防対策について	(1) コロナ禍は女性に、より深刻な影響を与えており特にシングルマザーの状況は厳しい。また、配偶者からの暴言や暴力の被害などの相談も増え、自殺者が増え問題となっているが、相談の状況や、自殺対策を伺う。	市長
		6. 飼い主のいない猫に携わるボランティアの登録と協議会の設置について	(1) 飼い主のいない猫に携わる(地域猫活動)ボランティアの登録とネットワーク作りに取り組まないか。	市長





## 令和3年 第4回定例会(9月議会) 一般質問通告書

質問順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
7番	17番 坂口 洋之 議員	1 若い世代の感染を広げない ・ コロナ感染対策について	(1) 8月以降の10歳未満・10代・20代・30代のコロナ感染数の状況とワクチン接種率の状況はどうか伺う。	市長
			(2) 2学期からの小中学校の感染対策の取り組み(机の配置・給食・学校行事・部活動)について本市の考えを伺う。	教育長
			(3) 9月から発熱症状があった児童・生徒が保護者から希望があった場合に簡易PCR検査が実施されるが、実施についての考えと安全対策を伺う。	市長 教育長
			(4) 児童・生徒のマスクをしながらの暑さ対策が急務である。空調の未設置の特別教室への設置についての考えを伺う。	教育長
		2. 草刈りをとおした地域活性化について	(1) 高齢化と人口減少が進む中での市道愛護作業の現状と課題は何か。	市長
			(2) 市道の作業の範囲が広い、扇尾・坊野・平鹿倉・高山の各地区公民館管内の作業人数・回数・時間・参加者の高齢化の状況はどうか具体的に各地区の状況を伺う。	市長
			(3) 鹿児島市喜入町では、民間団体が「草刈りツーリズム」に取り組んでいる。本市においても、「草刈り」をとおした新たな、イベント・企画を地区公民館等と連携し取り組まないか伺う。	市長
			(4) 女性・若者、利用経験のない方への刈払機の安全講習会、また各地域で草刈りに協力できる市内外の方のサポーター制度を導入できないか伺う。	市長

令和3年 第4回定例会(9月議会) 一般質問通告書

質問順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
8番	6番 佐多 申至 議員	1. 本市独自の防災・減災の取り組みについて	<p>浸水想定区域については水防法第15条に、また土砂災害警戒区域については土砂災害防止法第8条に市長の危険の周知、警戒避難体制等の整備、その他の必要な措置が義務付けられている。</p> <p>(1) 災害において民生委員や自主防災組織(自主防災会)等は、住民避難支援において、それぞれに地域内でどのような役割なのか。</p> <p>(2) 要配慮者への危険周知や避難支援等については、誰がどのように対応しているのか。</p> <p>(3) 自治会未加入者への危険周知や避難支援等については、誰がどのように対応しているのか。</p> <p>(4) 浸水想定区域や土砂災害警戒区域等における表示板設置等は、どのような状況か。</p> <p>(5) 市民の危機意識向上を目的に、まずは河川浸水区域、土砂災害警戒区域(イエローゾーン)、特別警戒区域(レッドゾーン)の表示板を設置し、ハザードマップの見える化に取り組まないか。</p> <p>(6) 8月17日の大雨による避難所開設を早めに行ったが、避難者の人員状況はどうだったか。またその状況をどう捉えているのか。</p> <p>(7) 個々の自己決定力、自発的行動力を高めるためには何が必要と考えるか。</p> <p>(8) 現在、避難体制に実用されている雨量計は何箇所、どこに設置されているのか。</p> <p>(9) 気象観測体制の整備として、局地的豪雨における地域毎のデータの収集と、きめ細やかな避難体制の充実を図るため、まずは特別警戒区域を含む土砂災害警戒区域の最も危険な区域から市独自の雨量計の設置に取り組まないか。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>

令和3年 第4回定例会(9月議会) 一般質問通告書

質問順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
			(10) 日頃からの防災・減災意識向上を目的に、学校教育並びに社会教育における定期的な生活学習として親子で学ぶワークショップ形式で家庭用雨量計づくりに取り組まないか。	教育長
			(11) 変化する自然災害、それに伴う法律の改正など、地域防災及び地区防災計画に基づき、しっかりとした避難体制づくり(自主防災組織づくり)や個別避難計画の作成などが自治体に求められている。防災・減災及び災害時について専門的知識を有し、緊急時に判断及び意見・助言できる人が庁舎内にいるのか。	市長
			(12) 市民の安心安全に一步踏み込むために、防災危機管理課を立ち上げるべきと考えるがどうか。	市長